

# 桑名ノ久協

令和4年3月15日

第51号

桑名市文化協会  
桑名市中央町2丁目37  
TEL 24-1361  
<https://bunkyo-kwananajp>

## コロナ禍でここが変わったコロナ禍の今

今号ではコロナ禍の中、工夫と努力を重ねて活動する会員の状況、全体のテーマに。それぞれの「今」をお届けします。

### コロナ禍に「活」を入れよう

茶華香道部門

谷古宗正

(遠州流茶道)

茶道とはお菓子を出してお茶を点することが本質ではなく、お茶席の設えについてや時候についてなど、主人とお客さまとの会話があつてこそ成り立つものです。それがこのコロナ禍で全てが否定されてしましました。

令和二年度、茶華香道部門ではコロナウイルス感染症拡大の為、一切のお茶会・華道展の開催を見合わせました。令和三年度はコロナ感染症への対策を講じて、六華苑での月釜茶会・華道展再開を見て準備を進めてきましたが、さらに関催を一年見送る事となりました。私は自宅教場での茶会は取り止めました。茶会を行いましたが、この一月に感染対策を整えた上、最少人數で新春茶会を行いました。床には「活」とは、「生きる」ということです



▲コロナ前 令和元年度市民芸術文化祭  
お茶会の様子

が、コロナ禍の日本に「活」を入れるという意味も込め、また今年こそ月釜茶会、桑名市民芸術文化祭のお茶会と華道展が開催できるようにとの希望を持つて皆さんにお茶を振る舞つたところです。その原稿を書いている一月現在、感染力の高い新たな変異株の出現で、感染者数が日に日に増えています。この状況に憂慮しています

令和四年度は五月から月釜茶会を開催する予定です。但し、月釜併催の華道展は今回から取りやめ事になりました。今まで楽しみにされていた方には申し訳ありませんが、今後の華道展は桑名市民芸術文化祭での発表に尽力いたしますのでご期待ください。

### コロナ禍での活動の想い

芸能Ⅱ部門 谷口泰江

(桑名市吟剣詩舞道連盟)

新型コロナウイルス感染症拡大で社会全体が劇的に変化してしまいました。公共施設での利用も一時的に出来なくなり練習の場を失うこともありました。それと同時に会員は高齢者も多く感染を恐れ、教室も中止する期間が何度もありました。

毎年十一月に「桑名市民芸術文化祭吟剣詩舞道の祭典」を、NTNシティホールで開催していました。詩吟、剣舞、詩舞を愛好する仲間が一堂に会しそれぞれの教室で祭典に向け一生懸命に練習をして演じられる構成吟は、身近な郷土の歴史や、自然また古来より中国、日本で活躍した詩人、文人など題材にした作品が作られて

おり、毎年楽しみにしている所です。しかしコロナ禍の二年間は見えない不安に誰しもがおののき催すことが出来ませんでした。年一回の、この祭典で各流派の方々と協力しプログラムを作成から、役割分担などを決め、新たなか信頼関係や、交わりが広がつて行き、今迄になかつた思いを発見することができます。これができ会員相互の輪を広げていくことができました。また私達流派の総本部で行われる全国大会、中部大会その他行事が一切中止になり何か会員皆、閉塞的な気分になってしましました。そんな中ワクチン接種が進み少々落ち着いてきた時、研修会をしました。久し振りに一堂に会しマスク着用で吟じることができ本來の姿にかえったような気になりました。今年もコロナと共に生じてきました。今年もコロナと共生していかざるを得ないと思われます。吟詠は詩歌を声を出して詩情を表現する活動です。思いきり吟じ一日も早い終息を願ふこと



▲コロナ前 令和元年度市民芸術文化祭  
吟剣詩舞道の祭典より

# 桑名市民芸術文化祭を終えて

## 演劇の祭典

### 初のオンライン配信 公演への挑戦

社会文化部門展  
～暮らしの近くに息づく文化～  
芸術文化の力を信じて

社会文化部門 西村幸子  
(きいろいおうちの会)

コロナ禍での文化祭に向けての取り組みは、数々の制約を受けました。当初の会場と開催日が変更になり、開催日までのスケジュールの見直しや、対面での打ち合わせを最小限にし、ネットによる文書のやり取りで会員相互の意思疎通を図るなど、理事を中心に準備を進めました。

二日間に亘る部門展は、「暮らしの近くに息づく文化」と題して、石取祭の研究成果、郷土歴史地誌研究の「桑名地名あれこれ」の一括展示とそれを冊子にまとめた総集版の無料配布、地域のコミュニケーションスペース「きいろいおうち」の天文講師による天文写真の高画質画像のデジタル展示、桑名の千羽鶴の作品展とワークショップ、音楽ライブ、消費文化研究会による講演会と多様な内容になりました。雪や寒さにも関わらず、来場者は百三十人を数えました。また、隣の会場で開催中の他部門の展示に来場の方が、ワクシヨップの「はしご」をしてくださるなど、部門間での交流もできました。コロナ禍で「不要不急」という

言葉が聞かれます。ともすれば芸術文化活動は不要不急とされてしまいそうですが、芸術文化活動は不急かもしれないが、決して不要ではありません。音楽や絵画、舞台芸術が持つ力は心の栄養になつて、人々に潤いを与えてくれます。一点の絵画作品、一曲の音楽が人生を豊かに変えることもあります。芸術文化の力を信じて、コロナ禍を乗り越えたいものです。

社会文化部門は桑名文協の中で少人数の部門ですが、メンバーがそれぞれの持ち味を活かして、中身の濃い部門展を開催することができたと思っています。



今年度の市民芸術文化祭参加作品『鬼サミット』。新型コロナウイルスの影響に鑑み、ホールにお客様をお迎えすることは断念しました。一人でも多くの人に、安心してお芝居を楽しんでいただきたい。そのため、ホールで収録した映像をオンライン配信するという形を取った。市内の方はもちろんどん、市外、県外の方にも見ていただけます。また、一度きりではなく、2ヶ月という期間中、見放題として、とくにお子さまのいるご家庭では繰り返し楽しんでいただけることを想定した。

舞台照明はプロに委託。映像収録もプロに依頼し、シネマカメラという独特的の風合いが楽しめるカメラを3台も使い、音声も雑音なしで撮影の要領でカット割りして収録し、その後プロの技術を借りつつ編集。非常にクオリティの高い映像作品となつた。

公開が始まると、常連さんはいち早く、市内、市外、県外、さらに海外からもご購入いただいた。しかし、チケット売上は想定の半分以下。大赤字となつた。チケットの売り方に反省点が多数見えました。スマホやタブレットで動画を観るが、市内、市外、県外、さらにはハードルが高かつた。また予約支払い方法を、ウェブ上受付、口座振込み、一律としたことにも、苦手意識、面倒さが出て、売れ行き不調につながつた。

今後もまだ続くコロナ禍。配信公演は必要である。次回は、関係者による手売りや、ご協力くださる店頭などへの委託など、オンラインに馴染みない方にも抵抗感少なくご試聴いただけるような工夫をしていきたい。



## ダンス、DE、パフォーマンス 2021

バレエをもつと身近に

芸能Ⅲ部門 堀田佳世子

(スタジオリラ)



令和3年11月23日に、大山田コ  
ミュニティプラザの文化ホールに  
て、第30回桑名市民芸術文化祭、  
洋舞部門による、ダンス、DE、パ  
フォーマンス2021が催されました。  
伊藤好子&ダンシング・ステッ  
プ、金田枝里香バレエ教室、スタ  
ジオリラの3団体によるダンスを披  
露しました。

私たちスタジオリラは今年度よ  
り、文化協会に入会させていたた  
いたバレエ教室です。文化祭へも  
初めて参加させていただきまし  
た。コロナ禍での開催でしたが、  
文化協会のしつかりとした安全対  
策、関係者皆様のサポートのおか  
げで、たくさんのお客様に観てい  
ただくことができました。たくさん  
の温かい拍手を体で感じること  
ができたこと、このような機会を  
いただけたことに感謝いたしま  
す。

スタジオリラは、たくさんの方  
にバレエをもつと身近に感じてい  
ただけたらと思っております。文  
化祭での音楽には、クラシック音  
楽と『花は咲く』『ムーンリ  
バー』の身近な音楽に合わせてバ  
レエを踊りました。文化祭が終  
わった後に、「花は咲く、また踊り  
たい」と伝えてくれる生徒さんもお  
りました。これからも、バレエを身近に感  
じていただけのよう、さまざま  
な音楽でバレエを踊り、踊り手にも  
見てくださる方にも楽しんでいた  
だけれど活動をしていきたいと  
思つております。

また、バレエを通して、少しでも桑名の皆様にバレエの文化を伝えられるよう励んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



## 桑名市文化功労者表彰を受けて

桑名能楽連盟の軌跡

芸能Ⅰ部門 小松勝憲

(桑名能楽連盟)

この度は市より表記の団体表彰  
の栄誉にあずかり、驚き並びに感  
激をしております。

思い興せば三十四年前に小生と  
同好の連れの二人で、市内の同類  
の方々を纏め桑名能楽連盟の基盤  
を造る事が出来ました。規模は六  
団体、百十一名で、発足会は扇会  
館(現柿安本店)で挙行致しまし  
ます。

当時は、公民館の謡曲サークル  
を申し込むの行列が出来た程の  
盛況でした。しかし、趣味の多様  
化でしようか、現状は一年に一歳  
ずつ平均年齢が上昇する状況とな  
り、この状況の打開を図るべく市  
民会館で“能之会”を二回、また  
そのプレワークショップとして演  
目の解説及び子供仕舞の披露、他  
に“能の扇とその絵について”的  
解説、また“能に登場する源平の  
武士達について”等のPR活動を  
しております。

ただ、芳しい成果はなく、着眼  
点を変えて児童に伝承し、将来の  
担い手を育て回帰が叶えれば、永い  
目での目的達成になると考え、平  
成二十二年に子供仕舞教室(旧精  
義公民館の講座として)を開き十



# 新春六華苑祭を終えて

新春を雅びて  
今こそ 文化芸術を  
楽しむ心を

芸能I部門 麗明智翔  
(筝曲麗明社 廣翔会)

令和四年、新年を迎えて、まだ尚新型コロナウイルスとの共存の日常。マスク姿で人と出逢うことが当たり前となり、顔の表情やその方のお顔もわからないままで深く読み取り、心の声をしかし、マスク姿であつてもその心は変わるものではなく、目や耳で深く読み取り、心の声をよく聞くことにも慣れてきて、より本質を人々は求めていた時期かもしれません。更に、自肃期間などでおうち時間も増え、自分で楽しむ心が「文化芸術」「音楽」を求めるように感じます。



明智翔門下生が出演。習い始めて半年の小学生、頼りがいのある中学生たち、受験期にレッスンを辞めていた高校生がレッスン再開、とそれぞれ違う状況の中、レンタル時間は筝に没頭して頑張つてくれました。

演奏者的心を映す「筝の音」。マスク姿の演奏であつても、こどもたちの演奏が皆様的心に届いていました。

今年も、新春六華苑祭が1月22日・23日に、桑名市文化協会会員による催されました。まだまだ続いているコロナウイルスによるまん延防止等重点措置期間とも重なり厳しい状況となりました。とは言つても芝生広場では、キッズダンスが発表され、若い力をもらうことも出来、子どもさん達にとっても良い思い出となってくれることと想います。

美術部門 廣山三千代  
(個人会員)

## "発表する"喜びを

美術部門は、番蔵棟で展示を行いました。参加分野は、絵画・書道・写真・陶芸・染色・アート・版画・彫刻の8分野、49作品の展示と成りました。それぞれの個性が、しつかり出した力作ぞろいでした。

作品は、展示することにより、初めて人の目にふれ、作品として成立していくものなのではないかと私は思います。『人に見てもらいたい』喜び" "発表する場所のある幸せ"又、"人との出会いによる自己啓発" そういうことの積み重ねにより、作品が出来上がつて行く様子に思つております。発表しなかつたら出会うことの出来なかつた、みえ県展に審査員でみえた京都の伊砂利彦先生との出会いが、私にとってターニングポイント

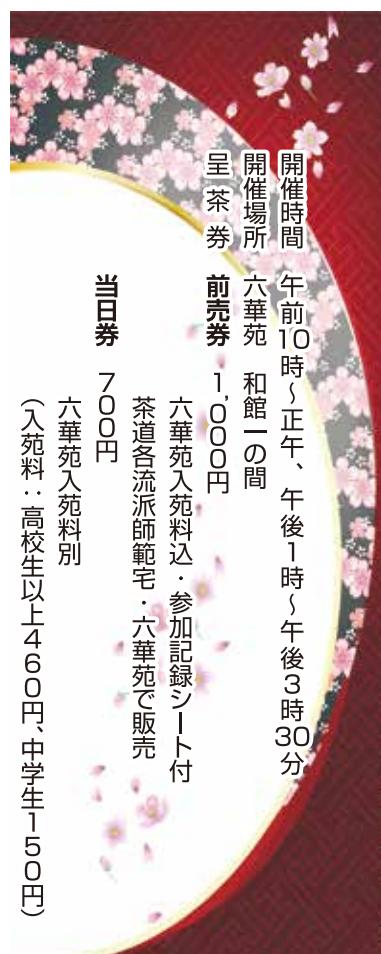


だつたと思つています。作品を作つているすべての方に発表して頂きたいです。又、桑名市文化協会に入会して頂き発表の場として下さればと思います。コロナ禍の中でも発表の喜びを、そして観る人の心を美術の力で元気付けることができたらと願います。

最後に、すべての人との出会いに感謝しております。私自身今後も、人の心に届く作品作りを行きたいと思つています。

# 令和4年度月釜日程表

		開催日	茶道担当流派
令和4年5月22日(日)	令和4年5月22日(日)	茶道裏千家	
6月19日(日)	6月19日(日)	表千家流	
9月18日(日)	9月18日(日)	茶道裏千家	
10月9日(日)	10月9日(日)	遠州流茶道	
1月15日(日)	1月15日(日)	表千家流	
2月19日(日)	2月19日(日)	茶道裏千家	
3月19日(日)	3月19日(日)	遠州流茶道	



当日券

700円

六華苑入苑料別  
(入苑料：高校生以上460円、中学生150円)

六華苑入苑料込・参加記録シート付  
茶道各流派師範宅・六華苑で販売

開催時間 午前10時～正午、午後1時～午後3時30分  
開催場所 六華苑 和館一の間  
呈茶券 前売券 1,000円



※令和2年度募集より桑名市文化協会育成補助金要綱を、令和3年度より運用規定・Q&Aを一部改定しました。

## 令和4年度 桑名市文化協会 育成補助金募集のお知らせ

桑名市文化協会では、桑名市の芸術文化振興のため、文化協会会員が企画して行う事業に対して、補助金を交付します。令和4年度の育成補助金を申請される方を募集いたします。

### ○補助対象団体等

文化協会の個人及び団体。ただし、令和4年4月1日をもって、桑名市文化協会に在籍1年以上で、令和2年度・令和3年度に補助を受けていない会員。

### ○補助金の額

事業企画実施に要する交付対象経費の80%以内の額で30万円を限度とする。

### ○応募の方法

文化協会事務局から送付された申請書に記入し、同事務局へ提出申請する。書式は文化協会ホームページよりダウンロードすることもできる。

### ○応募受付期間

令和4年3月1日（火）～  
令和4年3月31日（木）  
(令和4年4月1日～令和5年3月31日までの実施事業に限る)

## 第30回 定期総会のご案内

（日時）令和4年5月15日（日）  
午前10時から

（受付は午前9時30分から）  
（会場）くわなメディアアライブ

多目的ホール

\*各部門から代議員の選出をしていただきます。

## 令和3年度 新入会員の紹介（敬称略）

（3月1日現在までに入会の会員）

芸能I部門 一絃琴楽風会  
芸能III部門 Studio Litas

美術部門 美術部

文学部門 文学部門

音楽部門 音楽部門

個人会員 伊藤 誠

個人会員 伊藤 智之

新入会員大歓迎♪



文化活動を行っている団体さん、個人の方、文化事業に興味のある方、一緒に桑名市の文化芸術活動を盛り上げていきませんか？お問い合わせはお気軽に♪

# 文協文芸

## 【文学部門】

### 詩 〈現代詩やまぶき〉

#### わすれもの

岡本妙子

いやなのです  
又次になんて約束は  
次は、うんとおいしいステーキを  
なんて　いや  
今日のお茶漬けの方が好き  
まして　次の誕生日には  
バラの花で  
部屋をうめつくしてあげるなんて  
きのう野原でつんで来てくれた  
ねじり花の方が好きだった  
ひとりぼっちになつてしまつた  
真白い顔になつてしまつて  
一人旅にしてしまつた  
あれから  
おいてきぼりの小さな体は

静また　青白い月  
さつまいも畑のお母さんたち  
ぐずる子に子守唄歌つていた

堀川孝子

#### うーんと踏ん張つて

真夏の太陽の下  
ハート形した葉っぱ  
いっぱい広げ

強い光　全身で受け止めると  
エネルギーを慈しみに変え  
たつぶりの愛を子供たちへ

コオロギが鳴き出した  
力エルを土の中で見かけると  
収穫の秋

## つばめ

安田治三

水田は緑になお清々しい

黄昏時に帰ると燕は  
軒下で驚きながらも迎えてくれる

鎌を振りかざし  
芋づるを切り離す  
もつたりしたミルクがあふれ出た

土を被つた丸い頭が見える  
ザクッとスコップが土の中へ  
いきなり壊された住廻すみか  
身を引き締めた根っこ

暗ぐつて硬い土の中  
押して　押して

顔まつ赤にして  
うーんと踏ん張つて  
鉄のような壁動かし  
太つてきた

掘り出されたさつまいも  
真つ青な空  
まぶしそうに目を細め  
いつそう顔赤くして  
はじめまして

うーんと踏ん張つて  
世の中の重い空気吹き飛ばし  
焼き芋になる  
きんとんになる

隣の家は久しく住む人もなく  
立派な佇まいに二つ三つ  
空っぽの巣だけが残っている  
巣立つていつた幼なじみ達  
きつと  
それぞれの道を  
ふさわしい生き方を  
進んだに違いない  
かつての夕焼けは  
友達の笑い声とともに  
色褪せていつても

あの時の、あの日々を  
私は決して忘れない

## 俳句〈俳句を学ぶ会〉

### 春夏秋冬 安田治三



年末年始 竹村一雄

年の瀬に凶引き明日に光あり

昨年末、京都今宮神社で連れ合  
いがおみくじを引いたら「凶」と  
でた。もう一回ひこうとしたら、  
宮司から、よく読んで見なさいと  
言われ読んでみると、今が最悪で  
これから良くなるとのこと。  
昨年はコロナを除けば慶事も  
あつたし、柿安の福引で二等も当  
てた。これが「最悪」であれば今  
年はどんなにいいことが待つてい  
ることか、楽しみなこと。  
蕉翁と鞠子の宿でとろろ汁

五月雨の窓辺流るるひと時を  
千年の五重の塔梅雨に立つ  
土砂降りの雨をも怖い母待つ児  
いなびかり音に雨に夏は来ぬ  
秋風を迎えて行きたい老いた我  
紫陽花の小庭彩る青映えて  
軒下に親燕待つツバクロか  
山鳩がホウホウとなく哀しさよ  
空模様不気味な色に嵐前  
隣りの人初物もつて今朝来たる  
筍に朝露濡れてそれとれの  
年が明けて、オミクロン株が急  
拡大する直前、浜名湖に行つた。  
俳句を志すものとして一度行きた  
かった丸子（鞠子）宿まで足をの  
ばし、例のとろろ汁を貰味。今年  
もつつがなく過ごせますように。  
（「とろろ汁」は秋の季語？？）

## 短歌

### 三四郎の遠吠え 短歌物語

伊藤智之  
(個人会員)

私は柴犬の三四郎。飼い主の真似をして始めた短歌が病みつきになり、時々、人前いや犬前で、短歌もどきなことを口走り、変り者と言われている。  
自分では、それなりの歌犬のつもりでいるが、独りよがりのようである。でも隣りの猫のみいちゃんは、私の短歌作りを応援してくれていて、たまに開く歌会にも、つき合ってくれる。

そのみいちゃんの紹介で、知り合った、白犬のシロさんも、私の歌を判つてくれているようだ。  
シロさんは話し好きで、特に短歌の話になると、止まらない。  
犬や猫の会話とか、長時間の会話を疑問を持つむきもあると思うが、それは、地球には、人間が既に忘れてしまった自然界語があり生物共通の言語として使われていて、この会話には、お互いに相手を思いやる心が必要であるが、人間の驕りがそれを失くしてしまった。

みいちゃんと一緒に立ってきた。早く歌会を始めた。  
①シロさんは、私の家の坊やが、夏の海で捕まえた、ヤドカリを飼っている。捕わされたヤドカリの哀しみ。  
☆みいちゃん・その思い届くは、まずはヤドカリが、カラソコロンもいい。七転び八起きに通じる。  
☆三四郎・音たててはカラソコロンの説明になるが、あえて重ねることで効果を出している。洗面器は、限られた世界、結句の一回回るは、一生になる。この句全体が象徴歌と読まれるところが弱みか。部分的な象徴手法も覚えてはどうか。  
②犬老いて尚人間を好きになつて、サクラ吹雪をリールが繋ぐ  
★シロさん・この頃になつて、飼い主の性格が、好きになつてきた。  
☆三四郎・サクラ吹雪と繋ぐリールをいかに読むか。リールは束縛か保護か開放か。サクラ吹雪が答えるだろう。  
★シロさん・三四郎に質問。人間の諺に「情けは人の為ならず」とあるがどうか。  
☆三四郎・人間は、この諺の解釈を、人に情けを掛けておけば、何れは、返つてくるとしている。本当は、人の痛みを共有してそれが解決したとき喜びあえることで、思いやりの解釈を間違えている。パパの帰宅で歌会は閉会。

秋晴れのある日、シロさんが、

# 桑名地名あれこれ(26)

社会文化部門  
(個人会員)  
大河内 浩

ご贊助いただいております  
特別会員の皆様  
(3月1日現在  
(五十音順))

現在通称されている市町村の單位は近代市町村制と呼ばれ、明治二二年（一八八九）の頃からです。それまでの自然発生的な幕藩体制下での村々は、このとき日本全国で一気に五分の一ほどとなり、三重県下でも明治初期に約一八〇〇あつた町村が一市一八町三一七村になつてあります。ちなみに一市津は、名古屋市より六ヶ月も早く市制を敷いています。

今回話題の在良村は、このとき額田・増田・稗田・蓮花寺・西別所の五力村合併ででき、往年このあたりにあつた在善郷の名に由来します。本シリーズ24で書いた古代桑名郡（西暦九〇〇年代）五郷にはなく、このあたりは額田郷です。その後寛文一〇年（一六七〇）の書状に「勢州桑名郡益田庄在善郷糠田村源流寺」とあり、現在増田にある源流寺で、諸書では在善郷を額田増田の二村と伝えます。明治選定の理由として「在良ノ称ハ往古西別所蓮花寺稗田ノ属セシ郷ナルニヨリ」とあり、いずれにしてもこのあたりの古地名です。



古代には額田部氏と呼ばれる氏族の所領地で、額田神社と淨蓮寺（額田廃寺）が創建され、この廃寺跡地を開発造成した一番初期の新興住宅街（昭和四二年結成）は有吉台と命名され「ありよし」は三様の表記となりました。

地区内の中央を北の山合いから南下し、ほぼ直角に東へ折れて員弁川（町屋川）へ向かう南岸の堤上に、ひつそりと石碑が建っています。日清戦争で活躍した人たちを顕彰する従軍紀念碑で「桑名に立見あり」と全国に名を轟かせた陸軍大将立見鑑三郎尚文が揮毫・篆額しています。同様の石碑は市内に四基あり、こんなところにも先人の栄光が感じられます。

日頃のご協力に対しまして、  
深くお礼申し上げます。

アートスペース	桑名病院	アートスペース	桑名病院
医療法人	誠会山崎病院	医療法人	誠会山崎病院
株式会社	朝日鑄式和	株式会社	朝日鑄式和
株式会社	歌舞伎工會	株式会社	歌舞伎工會
株式会社	山水分樓燈所	株式会社	山水分樓燈所
株式会社	水谷精機工作所	株式会社	水谷精機工作所
株式会社	レイ・ステージ桑名	株式会社	レイ・ステージ桑名
株式会社	桑名三重信用金庫	株式会社	桑名三重信用金庫
株式会社	中央不動産株式会社	株式会社	中央不動産株式会社
株式会社	木村洋行	株式会社	木村洋行
株式会社	桑名シティホテル	株式会社	桑名シティホテル
株式会社	18banch	株式会社	18banch
株式会社	新江場中	株式会社	新江場中
株式会社	木村村	株式会社	木村村
株式会社	ヒルカワ金属株式会社	株式会社	ヒルカワ金属株式会社
株式会社	三重精機株式会社	株式会社	三重精機株式会社
株式会社	丁茶子	株式会社	丁茶子
有限公司	森田フードシステム株式会社	有限公司	森田フードシステム株式会社
有限公司	茂屋社	有限公司	茂屋社
有限公司	花様	有限公司	花様
有限公司	花様	有限公司	花様
有限公司	光精工	有限公司	光精工
有限公司	新月	有限公司	新月
有限公司	新場	有限公司	新場
有限公司	新中	有限公司	新中

廣報担当副会長	丹羽宗俊
広報担当副会長	安田治三
委員	竹村一雄
美術部門	瀬古研士
音楽部門	谷口直人
芸能I部門	村瀬昌子
芸能II部門	伊藤泰江
芸能III部門	相原好子
演劇部門	小川千景
茶華香道部門	与松浩
社会文化部門	大河内誠
趣味教養部門	加藤誠

こんな時代の流れの中で、桑名文化協会は会員や団体相互の親睦と交流を行う、ひいては地域の活性化、人と人とのふれあいを大切に行なうのです。  
どうか皆様、桑名市文化協会をよろしくお願い申しあげます。  
(水谷直人)

ようやくコロナのデルタ株が下火になり、文化活動がこれからといふ時、今度はオミクロン株が止まる所を知らず爆発的な勢いで感染者が増えてきます。どうぞ皆様、充分注意して下さいます。ようお願い致します。

さて、最近は人ととのふれあいの場がだんだんと少なくなつて来ていますが、時代のスピードに合わせるかのように簡素化が加速しているように思えてなりません。冠婚葬祭は内々で済ませる。企業ではコロナ影響もありますが、テレワークやオンライン会議など、人と会わないようになつてきました。他にも例が多々あります。

一番大切な人と人の心の繋がり、人情の希薄化が心配であります。多々あります。

文化協会は会員や団体相互の親睦と交流を行う、ひいては地域の活性化、人と人とのふれあいを大切に行なうのです。

編集後記